



平成 21 年度農林水産物等海外販路創出・拡大委託事業  
(海外展示・商談活動 (ドイツ (IPM Essen 2010)))

実施報告書

平成 22 年 3 月

委託先：株式会社近鉄エクスプレス販売  
(農林水産省委託事業)

## 目次

はじめに	3
<b>第1章 IPM2010 の概要</b>	
1. 事業趣旨	4
2. 事前の抽出課題と事業の目標	4
3. 開催概要	
(1) 展示会プロフィール (2010年実績)	5
(2) 日本パビリオン概要	5
(3) 会期スケジュール	5
(4) 日本パビリオン出展者リスト	7
(5) 展示会場概要	8
<b>第2章 IPM2010 における日本パビリオンの運営</b>	
1. 事業全体の流れ	12
2. 運営内容の詳細	
(1) 出展者募集	12
(2) 出展品について	13
(3) 出展品の物流	14
(4) 日本パビリオンの設営	17
(5) 通訳・プロモーターの配置	20
(6) 集客イベント	21
(7) 来場者誘致やプロモーション	22
3. 会期中の様子 (写真による紹介)	23
<b>第3章 成果と課題</b>	
1. 出展者の評価 (会期1週間後の出展者総合アンケート)	25
2. 成果	32
3. 課題	32
4. 総評	33
※ 参考資料	34

## はじめに

本報告書は、平成 21 年度農林水産物等海外販路創出・拡大事業により日本パビリオンの設置、運営を行った、ドイツのエッセン市における国際園芸見本市「IPM Essen 2010」への出展事業実施概要を取りまとめたものである。

農林水産省では、農林水産物等の輸出額を平成 25 年までに一兆円規模にするという政府目標の実現に向け、様々な輸出促進対策事業を実施している。農林水産物海外販路創出・拡大事業（海外展示・商談活動）は、我が国の農林水産物や食品の海外への販路を新たに創出、またはそれを拡大することを目的とし、輸出志向のある生産者、商社及び関連団体等に対し、海外における展示・商談活動の場を提供、支援するものである。

本事業においては、歴史ある花き文化を持ち、高い競争力が求められる市場であるという点を考慮しながら、ヨーロッパ全域からの集客が可能な IPM Essen 2010 に、日本政府パビリオンを設置・出展、11 の企業・団体への商談支援を行った。

ヨーロッパにおける花き市場は、世界の花きの流通ハブであるオランダを始め、鉢物の大消費国ドイツ、古くから盆栽、植木の輸入国として知られるイタリア、また成長著しい東欧やロシアマーケットなど、裾野の広い購買力によって支えられている。

本報告書が、今後ヨーロッパ市場への花き輸出を検討する関係各位にとって参考となれば幸いである。

平成 22 年 3 月

## 第1章 IPM Essen 2010 概要

### 1. 事業趣旨

近年、日本産花き園芸文化への関心の高まりや、新しい花材に対する継続的な需要、新興国の経済発展に伴う富裕層の増加等により、高品質な我が国の花き商材の輸出拡大のチャンスが増大している。このような中、農林水産省が輸出志向のある生産者等の西ヨーロッパ及び東欧、ロシアなど近隣諸国へ輸出するための足がかりを作る為、世界最大規模の花き園芸見本市である IPM Essen に日本政府パビリオンを設置し、出展者の商談成約に向けた活動を支援することで、同市場における販路の創出・拡大を図るとともに、広く日本産花き商材の紹介を行うことを本事業の趣旨とした。

### 2. 事前の抽出課題と事業目標

#### ◆拡大のための課題と方針

IPM Essen は世界でも最大規模の園芸見本市であり、世界中から数多くのバイヤーが来場することから成約率が高いことでも知られている専門見本市である。

#### ■課題

- ・日本産花き類は数多くのオリジナル商材や高品質で注目されるが、国際標準価格より著しく高い（おおむね 1.5 倍～3 倍程度）
- ・高単価商材は 1 アイテムを大量に売ることが難しいため、現地バイヤーは 1 度の出荷に多数のアイテムを混載し、コスト削減のために必要な輸送ロットを確保することを求めている（生産者と密接に連携した組織が輸出に対するサポートを行う必要がある。）。
- ・現地から引き合いの高いアイテムは職人技で作られる商材が多いため、生産者の栽培規模は海外に比べ零細。海外見本市に出展未経験者が大多数を占め、小間割りでの単独出展は容易ではない。また、外国語のコミュニケーションの問題もあり、コーディネーターの存在が必要。

#### ■方針

- ・IPM Essen 出展では輸出の可能性を秘めるアイテムの展示を優先させるため、小間割りを行わずに近年共同出展形式でも人気が高く商談の効率が良い「ノンパーティション」形式のブース設計とした。
- ・真に輸出の可能性のある小規模生産者の出展のサポート体制を敷き、海外の花き見本市において我が国としてナショナル・パビリオンを設置する事で、花材品質の優位性をアピールする。

### 3. 開催概要

#### (1) 展示会プロフィール (2010年実績)

開催地	エッセン (ドイツ)
名称	IPM Essen 2010 (HP : <a href="http://www.ipm-messe.de">http://www.ipm-messe.de</a> )
会場	Essen Trade Fair Ground
会期	2010年1月26日(火)～1月29日(金) (4日間) (会場時間 : 9:00～18:00)
出展規模	総展示面積 : 43,575 m <sup>2</sup> 出展者数 : 1,511 (43ヶ国) (対前年比 104.4%)
主催	Messe Essen GmbH
出展品目	花き、園芸用品、花き美術品・工芸品、セールスプロモーション用品、等
来場者	57,168人 (対前年比▲94.5%)
参加業種	花卉業界関係者

#### (2) 日本パビリオン概要

出展者数	11企業・団体 (昨年度は13企業・団体)
参加規模	125 m <sup>2</sup> (10m × 12.5m)
会場内位置	ホール2-108

#### (3) 会期スケジュール

日程	主な内容
1月22日(金)～23日(土)	パビリオン施工
1月24日(日)	植木と一部鉢物搬入
1月25日(月)	切花、枝物、鉢物搬入。切戻しと水上げ。 出展者オリエンテーション、通訳との顔合わせ、出展物装飾 パビリオン装飾完了
1月26日(火)	IPM Essen 2010 初日 (13:00～13:30 盆栽剪定ショー) (13:30～14:00 フラワーアレンジメントショー)
1月27日(水)	IPM Essen 2010 二日目

	(12 : 30~13 : 00 盆栽剪定ショー) (13 : 00~13 : 30 茶道デモンストレーション)
1月28日(木)	IPM Essen 2010 三日目 (13 : 00~14 : 00 フラワーアレンジメントショー)
1月29日(金)	IPM Essen 2010 四日目 (13 : 00~14 : 00 フラワーアレンジメントショー) 展示会終了後撤収作業

(4) 日本パビリオン出展者リスト

No.	生産者名	住所	出展物
1	有限会社あかざ	289-2505 千葉県旭市鎌数 534	シンパク (盆栽)
2	アグリ マツモト有限会社	289-1222 千葉県山武市板中新田 259	サンダーソニア (切花)
3	有山緑化繁殖株式会社	339-0031 埼玉県さいたま市岩槻区飯塚 1312	タマリユウ、フィリヤブラン
4	有限会社いとう商事	289-2132 千葉県匝瑳市高 3994	五葉松 (盆栽)、 キャラ、キンメツゲ、イヌマキ (植木)
5	花き輸出振興協議会	102-8349 東京都千代田区三番町 8-1	コデマリ、スイートピー、デルフィニウム、オキシペタラム、グロリオサ (切花)
6	CHIBA フラワーボックス	266-0014 千葉市緑区大金沢町 473-2	レリシアスタイル カーネーション、アマリリス (切花)
7	豊明花き株式会社	470-1141 愛知県豊明市阿野町三本木 121 番地	ファレノプシス、デンドロビウム、デンマークカクタス、ヘデラなど (鉢物)
8	長崎県農林部農産園芸課	854-0063 諫早市貝津町 3118-5	デンファレ、スパットゴッテス (鉢物) カーネーション、アスチルベ、チョコモス、スカビオサ (切花)
9	Feel at	470-1214 愛知県豊田市福受町中の切 8 番地	シンビジウム等 (鉢物)
10	株式会社 向山蘭園	404-0036 山梨県甲州市塩山熊野 274	シンビジウム、ミルトニア、オドントグロッサム、ファレノプシス等 (鉢物)
11	八江農芸株式会社	854-0023 長崎県諫早市厚生町 3-18	ユーストマ (切花)

(出展者敬称略)

## (5) 展示会場概要

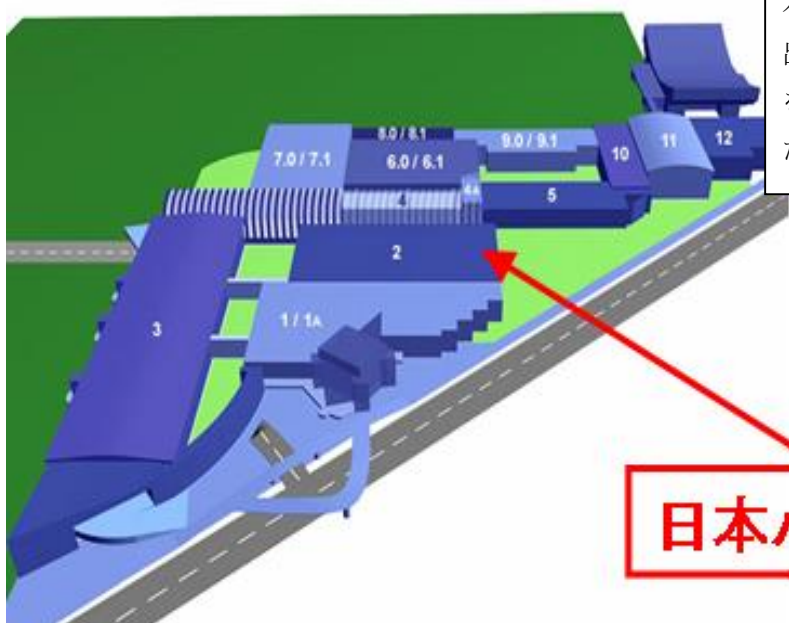
会場名 : Essen trade fair ground  
住所 : MESSE ESSEN GmbH  
Norbertstrasse D - 45131  
Essen Germany  
TEL : +49-(0)201-72440  
FAX : +49-(0)201-724-4248



HP : <http://www.messe-essen.de/index.php?lang=en&content=0000000>



◆展示会場平面図

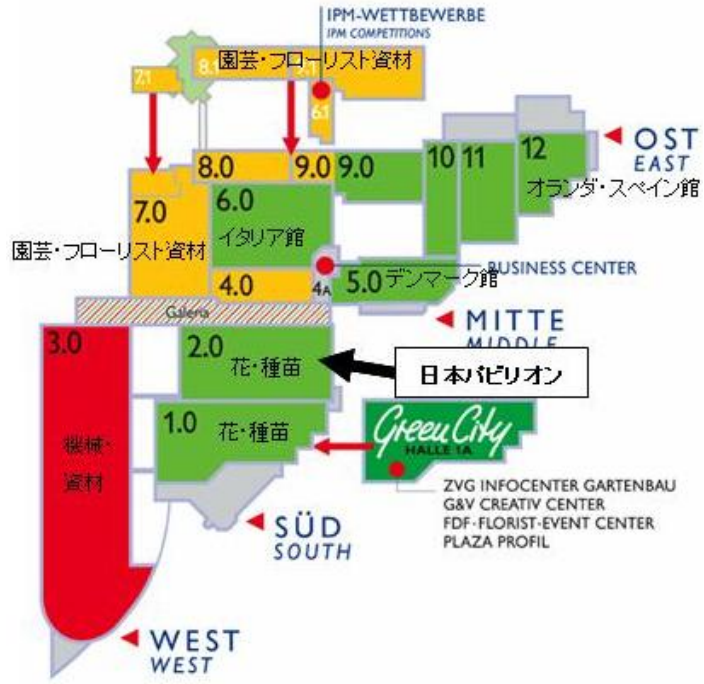


展示面積が11万平方メートルあり、18のホールが互いに直接繋がっている。特記すべきなのは、ホール3で、ヨーロッパで最も長い、柱のない外からの光が射すホールと、スター建築家マリオ・ベリーニ Mario Bellini によるギャラリーである。その他、合計2万平方メートルの屋外会場が4つあり、サンルームが3つある。

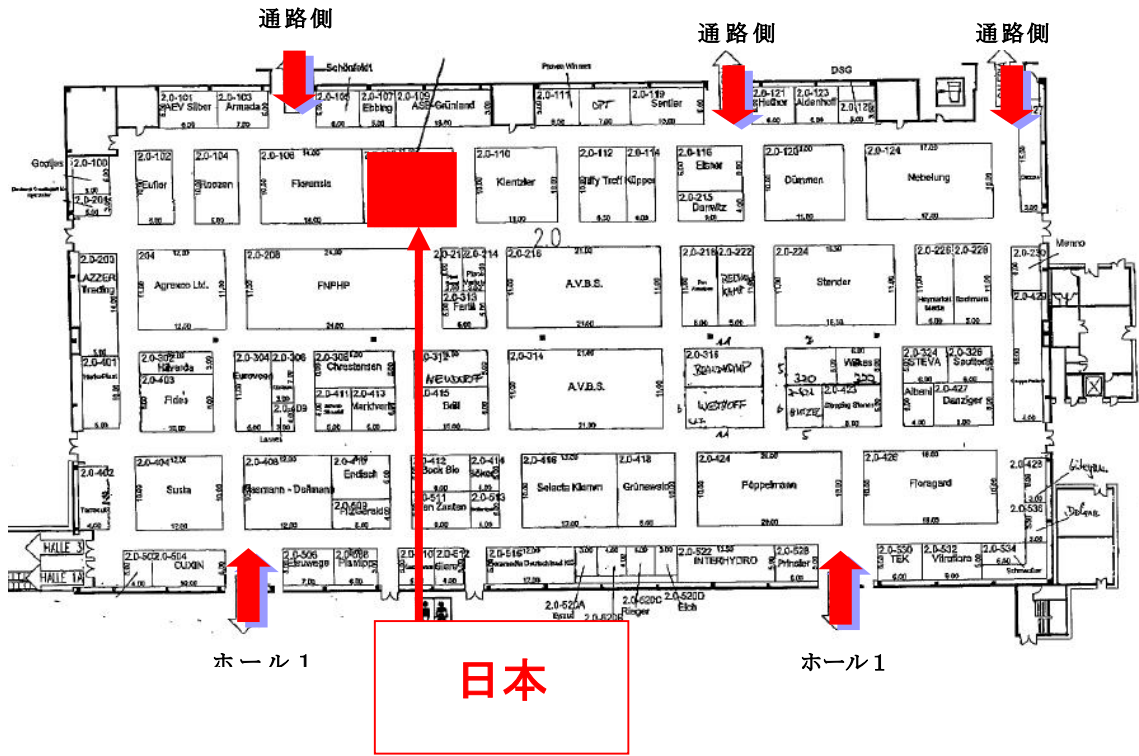
出展者のほとんどがほぼ毎年出展をしており、出展場所が決まっていることが現状である（人気のHALLは取ることができない）。日本パビリオンは人気の高いHALL 2で過去2回出展をしている経緯があり、場所的なメリットを考慮し今年度も引き続き同じ場所を確保した。

**日本パビリオンはホール2**

【詳細図】



◆ホール2内日本パビリオン位置



◆エッセン会場までの出展物輸送ルート



◆展示会場周辺地図



Messe Essen までは、Essen 中央駅から地下鉄 U17 で 5 分、Messe Haus Ost と Messe Sued が最寄り駅となる。

◆会場アクセスマップ

地下鉄が充実している  
エッセン市内

